

国際ジオテキスタイル学会日本支部  
1993年度通常総会議事録

期 日 : 平成5年1月29日(金) 15:00~17:00

会 場 : 三井石化産資(株)会議室(東京都文京区)

出席者 : 113名(内 委任状92名)

議 事 :

**議題 1. 開会および総会成立の宣言**

岩崎高明幹事長が開会を宣言した。また、会員数 184名(個人164名、特別20名)の内 113名の出席があり、規定 7.2.4の定数(全会員数の1割以上)を越して成立した旨が報告された。

**議題 2. 議長選出**

福岡正巳支部長を、議長に選出した。

**議題 3. 議長挨拶**

福岡正巳議長から次のような挨拶があった。「昨年は、11月にIGS 理事会をIS KYUSYU'92 に合わせて福岡市で開催し、全理事が出席して熱心な討議が行われた。また、日本支部主催で、11/15 にMr.D.Cazzuffi の学生向け講演会、11/16 にジオテキスタイル東京セミナーなどを開催することができた。そして、会誌として『ジオテキスタイル技術情報』が年3回発行された。なお、ほかの学協会の委員会でも、IGS のメンバーが中心的な活動を担うようになってきた。本日は、十分な審議をお願いしたい。」

**議題 4. 1992年度事業の報告**

岩崎高明幹事長より資料に基づき報告があり、質疑のあと了承された。

**議題 5. 1992年度収支決算の報告**

丸山健吉会計幹事(代 藤田氏)より資料に基づき報告があり、質疑のあと了承された。

**議題 6. 1992年度監査報告**

堀家茂一監事より高橋修三・堀家茂一両監事による監査の結果が、資料に基づき報告され了承された。

**議題 7. 1993年度事業の計画**

岩崎高明幹事長より資料に基づき報告があり、質疑のあと了承された。

**議題 8. 1993年度予算の計画**

丸山健吉会計幹事(代 藤田氏)より資料に基づき報告があり、質疑のあと了承された。

**議題 9. 1993年度一部役員の変更**

岩崎高明幹事長より資料に基づき報告があり、了承された。

**議題 10. 規定の変更**

岩崎高明幹事長より資料に基づき報告があり、質疑のあと了承された。

**議題 11. 閉会の挨拶**

福岡正巳議長から次のような挨拶があった。「IGS 日本支部は通常の学会と違い、技術的のみならず業界の発展に寄与できるようにしたい。つまり、ジオテキスタイル類が有効に使われる、販売量が増える、そしてユーザーにとってメリットのある適用等、である。また、試験法・設計法のないのがこの工法の弱点と言われている。これにも、他の学協会とタイアップしながら活動していきたい。最後に、ジオテキスタイルのISO の活動が伝わりにくい状況なので、日本支部も協力していく。」

(通常総会の議事終了後、同会場で懇親会が行われた)

1992年度(平成4年度)決算書  
(自平成4年1月1日～至平成4年12月31日)

1993年1月19日  
会計幹事 丸山 健吉

資料〔議題4. 1992年度事業の報告〕

1) 会員数

	名誉会員	個人会員	学生会員	特別会員	計
1992年1月	-	146名	35名	17社	198
6月	1名	158名	42名	20社	221
(グループ1含む)					

2) 刊行物等の発行

- ①国際ジオテクスタイル学会日本支部会員名簿(1992.1)
- ②ジオテクスタイル技術情報(日本支部ニュース)(1992.3.7.12)
- ③第2回東京国際セミナーテキスト(1992.11)
- ④第7回ジオテクスタイルシンポジウム発表論文集(1992.12)

3) 開催した行事

- ①マナーレクチャー(6/3(水) 於 高知、土質工学会共催、講師 Dr Koerner)  
ジオシンセテックの普及のための技術課題
- ②カーナレクチャー(6/6(土) 於 中央大学記念館 参加者 約70名)  
ジオシンセテックスの廃棄物処理場への利用技術
- ③IGS国際理事会(11/9.10 於 九州福岡、11/11~13 IS-Kyushu)
- ④学生向講演会(11/15(日) 於 東京理科大、講師 Dr. Cazzuffi 参加者 約70名)
- ⑤国際セミナー(11/16(月) 於 中央大学記念館 参加者 約80名)  
Meeting with Corporate Members 懇談会  
Meeting with Individual Members 懇親会  
11/17, 11/18 羽田空港工事見学会等 Rowe会長 他
- ⑥第7回ジオテクスタイルシンポジウム  
(12/1(火) 於 中央大学記念館 参加者 120名)

4) 委員会等の活動

- ①1992年度通常総会(2/14、監事会 2/3)
- ②幹事会 6回(1/20. 4/8. 6/23. 10/6. 11/16. 12/1)
- ③編集委員会、小委員会等、13回(1/9. 1/30. 3/19. 4/16. 21. 5/28. 7/8. 23. 27. 8/31. 10/15. 12/8. 11)  
(ジオテクスタイル使用量アンケート調査委員会を含む)

- ④行事委員会 2回(11/5. 20)

5) IGS本部の関連

- ①理事会への出席(11/9. 10) : 福岡支部長、赤木理事
- ②IGS日本支部ニュース  
ジオテクスタイル技術情報 : Vol. 8, No. 2 国際理事会に配布
- ③会員名簿 4回 : 2月、8月、11月(シールcheck)、12月(Corporate Information)

(収入の部)

科	目	予	算	決	算	備	考
1	会費収入						
	個人	8,000-	160名	1,280,000-	145名	1,163,000-	1991年振込
	法人	240,000-	20社	4,800,000-	20社	4,800,000-	3,964,000
	学生	3,000-	40名	120,000-	38名	114,000-	1992年振込
	(小計)			(6,200,000)		(6,077,000)	2,113,000
2	講習会参加費			1,000,000-		660,000-	
3	シンポジウム論文集			200,000-		165,000-	
4	出版物収入			200,000-		25,970-	
5	IGS本部還付金			250,000-		256,728-	
6	受取り利息			20,000-		14,763-	
	小計			7,870,000-		7,199,461-	
7	前年度繰越金			74,245-		74,245-	
8	その他			0-		150,000-	
	合計			7,944,245-		7,423,706-	

(支出の部)

科	目	予	算	決	算	備	考
1	国際学会費						
	個人	40F¥	159名	1F¥ = 130円 830,000-	158名		
	法人	1,000F¥	20社	2,600,000-	20社		
	学生	10F¥	40名	50,000-	42名		
	(小計)			(3,480,000)		(3,391,443)	
2	国際会議派遣費			250,000-		200,000-	
3	ニュース印刷費			200,000-		422,213-	
4	講習会費			1,250,000-		1,652,339-	
5	シンポジウム費			350,000-		341,368-	
6	各種委員会費			350,000-		338,118-	
7	事務経費			100,000-		100,000-	
8	通信費			270,000-		266,712-	
9	消耗品費			30,000-		78,588-	
10	印刷製本代			120,000-		107,471-	
11	備人費			1,000,000-		1,014,600-	
12	手数料			40,000-		25,836-	
13	積立金			200,000-		-----	
14	その他			30,000-		12,039-	
15	予備費			200,000-		-----	
	小計			7,870,000-		7,950,727-	
16	次年度繰越金			74,245-		▲ 527,021-	
	合計			7,944,245-		7,423,706-	

# 監査報告書

国際ジオテキスタイル学会日本支部

1992年(平成4年度)収支決算報告書  
(自平成4年1月1日～至平成4年12月31日)

収入合計 ￥7,423,706-

支出合計 ￥7,950,727-

上記につき預金通帳・領収書に基づき、帳簿を監査の結果適正でかつ正確であることを認めます。

平成5年1月22日

会計監事 堀家 茂

会計監事 高橋 修三



資料(議題7. 1993年度事業の計画)

## 1) 会員数拡大のための活動

	名誉会員	個人会員	学生会員	特別会員	計
1993年1月	1名	163名	41名	20名	225
(目標)	1名	180名	44名	23名	248

## 2) 刊行物の発行

- ①国際ジオテキスタイル学会日本支部会員名簿(1993. 1)
- ②ジオテキスタイル技術情報(IGS日本支部ニュース)  
3回/年(3, 7, 11月発行)
- ③講習会テキスト
- ④第8回ジオテキスタイルシンポジウム発表論文集(1993. 12)

## 3) 行事の開催

- ①講習会
- ②第8回シンポジウム(12/1(水) 於 東京)

## 4) 委員会の活動

- ①1993年度通常総会(1月29日)
- ②幹事会 4回(1, 4, 9, 11月)
- ③編集委員会 6回(1, 2, 5, 7, 9, 12)
- ④企画委員会
- ⑤行事委員会
- ⑥技術委員会

## 5) IGS本部の関連

- ①理事会への出席
- ②IGS本部への報告および連絡
- ③会員名簿(2, 6月)

1993年度(平成5年度)予算計画案  
(自平成5年1月1日～至平成5年12月31日)

1993年1月16日  
会計幹事 丸山 健吉

(収入の部)

科 目	予 算	備 考
1 会費収入 個人 8,000- 特別 240,000- 学生 3,000- (小計)	180名 1,440,000- 23社 5,520,000- 44名 132,000- (7,092,000)	
2 講習会参加費	200,000-	
3 シンポジウム論文集	200,000-	
4 出版物広告収入	250,000-	
5 IGS本部還付金	330,000-	
6 受取り利息	15,000-	
小計	8,087,000-	
7 前年度繰越金	▲ 527,021-	
8 その他	50,000-	
合計	7,609,979-	

(支出の部)

科 目	予 算	備 考
1 国際学会費 個人 45F¥ 特別 1,000F¥ 学生 10F¥ (小計)	180名 1,053,000- 23社 2,990,000- 44名 57,000- (4,100,000)	1F¥= 130円
2 国際会議派遣費	250,000-	
3 ニュース印刷費	400,000-	
4 講習会費	350,000-	
5 シンポジウム費	350,000-	
6 各種委員会費	350,000-	
7 事務経費	100,000-	
8 通信費	270,000-	
9 消耗品費	80,000-	
10 印刷製本費	80,000-	
11 備人費	1,000,000-	
12 手数料	40,000-	
13 積立金	200,000-	
14 その他	30,000-	
15 予備費	0-	
小計	7,600,000-	
16 次年度繰越金	9,979-	
合計	7,609,979-	

資料(議題9. 1993年度一部役員の変更)

支 部 長	福 岡 正 巳	東京理科大学工学部土木工学科
支 部 顧 問	田 中 茂	(財)建設工学研究所
〃	山 内 豊 聡	九州産業大学工学部土木工学科
幹 事 長	岩 崎 高 明	三井石油化学工業(株)、三井石化産資(株)
幹 事	赤 木 俊 允	東洋大工学部土木工学科
〃	阿 部 裕	鹿島建設(株)技術研究所第一研究部
〃	新 井 齊	前田建設工業(株)プロジェクト推進室
〃	伊 藤 雅 夫	前田建設工業(株)技術研究所
〃	久 奈 勝 行	建設省土木研究所機械施工部
〃	熊 谷 浩 二	前田建設工業(株)技術研究所
〃	坂 口 昌 彦	大成建設(株)技術研究所土質基礎グループ
〃	塚 本 英 樹	(株)建設企画コンサルタント総務部
〃	中 村 和 之	東急建設(株)技術研究所
〃	中 矢 隆 雄	(株)クラレ 東京産業資材部建設資材課
〃	高 橋 修 三	日本スパンボンド土木会、ユニチカ
〃	西 形 連 明	関西大学工学部土木工学科
〃	細 谷 芳 巳	(株)大林組 技術研究所企画管理部
〃	平 井 孝 典	清水建設(株)土木本部技術第一部
〃	堀 家 茂 一	(株)熊谷組 技術開発本部土木技術第2部
幹 事	卷 内 勝 彦	日本大理工学部交通土木工学科
会計担当幹事	丸 山 健 吉	岡三興業(株)開発部
幹 事	三 木 博 史	建設省土木研究所機械施工部土質研究室
〃	山 下 恒 雄	農林水産省四国農業試験場基盤整備室
〃	大 和 真 一	旭化成工業(株)建材開発研究所構造部材研究室
〃	渡 義 治	五洋建設(株)工学研究所
〃	梶 尾 孝 之	太陽工業(株)技術本部設計部
〃	笠 原 清 麿	前田工織(株)技術部
〃	岡 胤 英	(株)銭高組 技術研究所
〃	鈴 木 茂	ゼオン化成(株)土木資材事業部
〃	橋 詰 文 伯	大部工業(株)技術研究室
〃	高 岡 恭 三	三井石化産資(株)土木資材事業部
〃	吉 川 進	三菱油化産資(株)土木資材部
〃	宮 田 昌 暢	シーアイ化成(株)土木産業資材部
〃	田 中 雅 敏	(株)田中 開発部
会計監事	堀 家 茂 一	前 掲
〃	高 橋 修 三	前 掲
事務局	吉 岡 紀 男	(社)土質工学会総務部
〃	森 田 敏 郎	

資料(議題10. 規定の変更)

会費 4. 4 会員は会費を毎年1月末日までに納入する

改 定 会員は会費を前年12月末日までに納入する